

豊後大野市立新田小学校 【ICT活用の実際、学びの環境整備、教具の活用】

1. ICT活用の実際



デジタル教科書を投影して指導



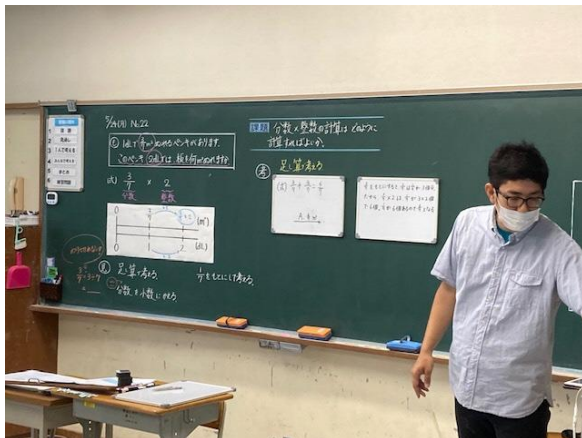
ワークシートを投影⇒児童発表

2. 学びの環境整備

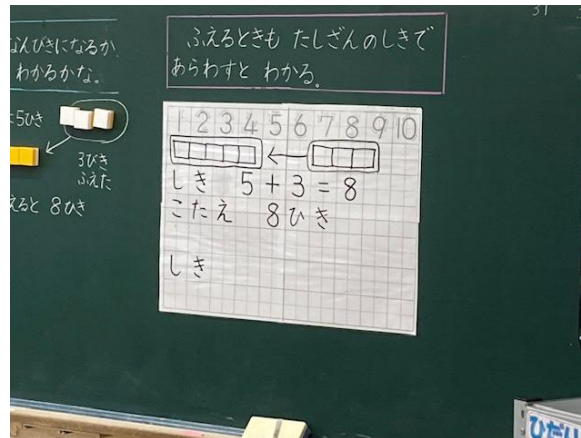


学びの足跡の掲示⇒いつでも振り返り

3. 教具の活用



ホワイト黒板、数直線図



マス目黒板⇒ノートとの一体化

1. ICT機器が、授業において、デジタル教科書やワークシートを投影し、教室全体で課題や発表を共有できるように活用していました。
2. 算数や国語の学びの足跡が、学級内に掲示され、いつでも学習の振り返りができる教室環境を整えていました。
3. ホワイト黒板が、児童の考えを適切に位置づけられる工夫がされていました。また、算数の理解を促すために数直線図などを効果的に掲示していました。とくに、1年生では、『板書とノートの一体化』を図るために、児童のノートのマス目と同じマス目の掲示物を黒板に提示していました。